

2017年度の事業報告書
2017年7月1日から2018年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業：

○南スーダン難民の緊急支援プロジェクト、レバノンに避難したシリア難民への緊急食糧支援のプロジェクトに各50万円、合計100万円の「わかちあい」（寄付）を実施した。

○これまでの寄付先の活動や情報をサイトや通信で紹介し、支援情報を発信するなど継続的に寄付先との関係を築くことに努めた。（寄付先団体のイベントや報告会等に有志が参加）

○第8回「わかちあい祭り」（チャリティーライブ&バザー）を開催。寄付支援先のブース参加や現場からの活動報告を受けた。今回、来日中のミンダナオ子ども図書館（MCL）の若者たち（11人）による歌と踊りのステージが実現し、支援の輪を広げることができた。会員、ゲスト、参加者、来場者どうしが交流し、つながること、支えあうことの喜びを広げた。売上と募金は全額寄付した（MCL、山王こどもセンター、笑顔つながろう会へ）

▼情報などの事業：

情報交換や会員交流に努め、わかちあいに共感する人のつながりを築いた。スマホなどの普及にともない、ウェブサイトを開改修し、新たに交流掲示板を設置した。通信・メルマガの発行、事務局ブログを通して当会の活動や寄付先の現場からの情報を発信した。

▼全体として： 発足から11年余の寄付の総額は 24,027,222円になった。（2018、6月末現在）

庶民の気持ちを集めれば、大きな寄付・支援ができることをさらに積み上げることができた。

困った時はお互い様、わかちあいの輪を広げていくために認定NPO法人の申請をめざすことを決めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
情報などの交流を促進する事業	わかちあい、困った時はお互い様の輪を広げる情報発信、交流を図るウェブサイトの運営。会員ページ（SNS）の運営。メルマガ（月1回）、通信（年2回）の発行。	通年	法人事務所等	15人	不特定多数
生命と自立を支える事業	ドネ・プロジェクト 南スーダンの避難民、シリア避難民支援の緊急プロジェクトに各50万円、合計100万円を寄付。	2017、 7.18	法人事務所	5人	（支援団体を通じて支援） 南スーダンからウガンダに逃れた避難民。シリアからレバノンに逃れた避難民。
	チャリティーライブ&バザー 第8回「わかちあい祭り」を開催 収益と募金160,400円を全額寄付。	2018 4.30	「ゼスト御池」にて 京都市役所前 地下街「ゼスト御池	25人	イベント来場者 京都の原発事故避難者。 イベント来場者。